

# 夢と希望

第2号

2011年  
10月1日



日本PCA教育振興会

Japan Parents and  
Citizens Association  
for Education

発行人 鈴木 仁

〒156-0056  
東京都世田谷区八幡山  
3-6-2

☎03-5317-4131

FAX03-3304-2188

第7回大人の教育シンポジウム

## 「子どもと大人の井戸端会議」

@那須



①「ハイ！」発言を求める子どもとマイク片手の寺脇研さん②パネルに提案を書き込む③寺脇さんの質問に答える子どもたち④募金のコインをくわえるタカのショー



## 「地球にやさしい暮らし」活発発言

第7回大人の教育シンポジウム「子どもと大人の井戸端会議」は2010年10月23日、栃木県那須町の那須どうぶつ王国で開かれた。テーマは「地球にやさしい暮らしを考える」。

会場のアニマルスタジオは、いつもは動物たちのショーを上演している。観客席を子どもたちが埋め、コディネーターの寺脇研さん(京都造形芸術大学教授、元文科省大臣官房審議官)がマイクを片手に走り回り、子どもたちの発言を拾った。

「テレビやパソコンのつけっ放しは電気のムダ」「ノートを使い切らないまま新しいノートを使っている」。もったいないの具体例が次々と飛び出す。

「冷蔵庫を開けっ放しにする」と、ピ、ピ、ピと音がする」という女兒の発言を受けて、寺脇さんは「お母さんピ、ピ、

日本PCA教育振興会  
会長 鈴木 仁

この度の大規模な震災により被害を受けられました皆さまとそご家族の方々に、心よりお見舞い申し上げます。

一日も早く平穏な日々が戻られますことをお祈りするとともに、少しでも復興のお役に立てるよう、日本PCA教育振興会と致してまでもご支援をしていきたいと思っております。



設立から12年。これまでに7回「大人の教育シンポジウム」を開いてきました。親だけでなく地域の大人たちが、自分の得意な分野で子どもたちと接することで、子どもたちの健やかな成長を手助けしたい。今年には震災の影響もあり開催を見送りました。これまでの我々の活動をご理解いただき、今後ともご協力・ご支援のほどを、よろしくお願いたします。

ピッ! お父さんピ、ピ、ピッ! とムダを見つけたら警告しようよ」と呼びかけた。

閉会式で、文科科学省生涯学習政策局社会教育課地域・学校支援推進室の山下洋室長は「児童生徒の教育に地域の人たちは欠かせない。PCAの活動に期待しています」と挨拶をした。

鈴木仁PCA会長は「子どもと大人の井戸端会議は栃木県が発祥で、NHKの全国放送で取り

上げられ、注目を浴びました。今回も子どもたちの積極的な発言で充実したシンポジウムになりました」と会議の成功を喜んだ。参加者は550人にのぼった。

大人の教育シンポジウムは、「夢と希望を語ろう」と2002年に文科省の隣り旧国立教育会館ホールで第1回が開かれた。第2回以降は「まことの対話を取り戻そう」(札幌)、「子どもたちのための安全な街づくり」(東京)、「IT時代の教育としつけを考える」(千葉・船橋)、「食育と子育てについて考える」(宮崎・都城)、「地域の力を生かした教育を考える」(東大阪)。第8回は2012年に沖縄・那覇で開催する予定だ。

日本PCA教育振興会役員

顧問	与謝野馨 (元文部大臣)	島村宜伸 (元文部大臣)
	町村信孝 (元文部科学大臣)	明石要一 (千葉大学教授)
相談役	中富文子 (佐賀)	片桐良雄 (長野)
	三浦規雄 (千葉)	橋本量太郎 (大分)
	薄田泰元 (新潟)	岡部観栄 (大分)
会長	鈴木仁 (栃木)	
副会長	田久保健美 (千葉)	阿多祥一 (宮崎)
専務理事	島田益吉 (東京)	
常務理事	佐保博文 (大阪)	狐崎麻男 (千葉)
	田口豊實 (青森)	
監査役	小林庄一 (福井)	木下徹 (東京)
	松下文芳 (北海道)	丸洋栄 (東京)
理事	田中康司 (岐阜)	山田誠香 (大阪)
	井門照雄 (愛媛)	川端政広 (福岡)
	島袋光尋 (沖縄)	三角田慎二 (和歌山)
	長谷部衛平 (千葉)	荒川律 (栃木)
事務局長	東洋子 (東京)	



平成23年度の総会は、7月8日東京・神田の学士会館で開かれたII写真。平成22年度の事業

# 教育シンポ

## 来年は沖縄で

総会で決定

報告・決算報告を議決、第8回「大人の教育シンポジウム」を平成24年秋に沖縄で開催するこ

となどを決めた。総会后、会員である落語家の三遊亭榮之介師匠が一席ご機嫌をうかがい、なごやかな雰囲気

# 叱るトランプ好評

## 大人から子どもへ

### 53ケースを紹介



日本PCA教育振興会が作成したハッキリ「叱る」大人トランプが好評だ。少子化社会に育つ現在の子どもたちは、親や周囲から甘やか

は「本気で叱ろう」運動に取り組み、2010年10月に、東京をはじめ首都圏や京都などでアンケート調査を実施、そ

の分析結果を基に千葉大学教育学部教授・明石要一氏(日本PCA教育振興会顧問)にご協力いただき、制作したのがこのトランプである。

かされ、悪さをしても叱られることがないとよくいわれる。両親も、地域の大人たちも、子どもたちをどう叱ったらいいか分からないという。そこで

大人と子どもがゲームを楽しみながら、叱り方、叱られ方のノウハウを一緒に覚えてもらうという狙いだ。トランプはジョーカーを入れて全53枚に、大人たちが実践して効果のあった叱り方が書かれている。調査をした時に書き込んでもらったものを、明石教授が教育的な見地から選んだ。いじめ、万引き、喫煙、ごみのポイ捨て、公共の場でのマナー違反、道路座り、深夜徘徊、自転車の危険乗り……。

## 学校支援者補償制度のおすすめ

(学校支援地域本部事業対応)

「学校に『地域』をつくろう」と提唱されたのは、2009年東大阪市で開かれた「大人の教育シンポジウム」でした。学校・家庭・地域の連携は、子どもたちの心身の成長を促すうえで、また学習を深めるためにも不可欠なものです。

文部科学省でも、小中学校の授業のお手伝いや、図書館の運営の手助けといった活動を地域の方々に担ってもらえるよう、地域ぐるみで学校運営を支援する「学校支援地域本部」をつくり、ボランティアの活用を促進しております。

日本PCA教育振興会では、こうした学校・地域教育協議会の学校支援者(例:パソコン操作外部講師、文化活動外部指導者、スポーツ活動外部指導者、授業補助員、学校評議員・地域コーディネーター等)の活用の際に、万一発生する災害等に対して学校・地域教育協議会が対応できるようにと考え、学校支援者補償制度を提供しております。

今年度は、全国で2400校ほどがこの制度を採択していただいております。詳細につきましては、下記の学校支援者補償制度係にお問い合わせいただくか、日本PCAのホームページ(<http://www.j-pca.net>)をご覧ください。

### ご案内・事故時の連絡先

日本PCA学校支援者補償制度係  
フリーダイヤル 0120-580-278 FAX 0120-590-279

日本PCA教育振興会  
〒156-0056 東京都世田谷区八幡山3-6-2  
☎ 03-5317-4131 FAX 03-3304-2188



JOKER  
「友だちいじめたら楽しいな。あ、楽しい」と言ったらやめた。(40歳・女)  
友だちをいじめている。PEKOR

A  
「自分が言われたら、うれしい言葉がどうか考えて」  
親戚の子が母親に「ババア」と言った。(41歳・女)

どれも具体的で、相手を傷つけない気配りが見られる。ことし初めから全国各支部のイベントなどで無料配布しているが、「このトランプを使って地域の子どもたちと一緒に遊ぶきっかけができた」などの声が寄せられている。お問い合わせは、日本PCA教育振興会(☎03・5317・4131)へ。